

なばり市議会だより

no. 62

平成23年11月
発行 ■ 名張市議会

● 議会広報特別委員会 ● 三重県名張市鴻之台 1-1 ● 電話 63-7834~5 FAX 64-8870 ● E-mail gikai@city.nabari.mie.jp



(上段左から) 常俊朋子議員、豊岡千代子議員、吉田正己議員、森脇和徳議員、高田稔嗣議員、田合豪議員、三原淳子議員、浦崎陽介議員、幸松孝太郎議員、森岡秀之議員、富田真由美議員
(下段左から) 永岡禎議員、橋本マサ子議員、山下松一議員、細矢一宏副議長、福田博行議長、石井政監査委員、柳生大輔議員、川合滋議員、吉住美智子議員

新体制決まる

10月6日に市議会の役員選挙が行われ、議長に福田博行議員、副議長に細矢一宏議員、議会推薦の監査委員に石井政議員が選出された。また、常任委員会の委員の構成も一新され、総務企画委員長に森脇和徳議員、教育民生委員長に吉住美智子議員、産業建設委員長に吉田正己議員、さらに議会運営委員長に永岡禎議員が選出され、新体制が決まった。

● 新三役紹介 ●



監査委員
石井 政



副議長
細矢 一宏



議長
福田 博行

【就任あいさつ】
このたび、第61代名張市議会議長に就任しその重責を負うことになりました。地方分権が進む中、議会の責務はますます高まってきています。改革を進め、さらに市民の皆様の負託に応えられる議会構築のため尽力する覚悟です。格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

名張市議会議長 福田博行

議会運営委員会

◎永岡 禎 ○吉住美智子
森岡 秀之 田合 豪 橋本マサ子 柳生 大輔 山下 松一

常任委員会

【総務企画】

◎森脇 和徳
○森岡 秀之
高田 稔嗣
石井 政
橋本マサ子
柳生 大輔
山下 松一

【教育民生】

◎吉住美智子
○幸松孝太郎
常俊 朋子
豊岡千代子
三原 淳子
永岡 禎
福田 博行

【産業建設】

◎吉田 正己
○富田真由美
浦崎 陽介
細矢 一宏
田合 豪
川合 滋

議会広報特別委員会

◎幸松孝太郎 ○吉田 正己
豊岡千代子 森脇 和徳 細矢 一宏 三原 淳子

【◎委員長 ○副委員長】

全員協議会 予算・決算部会 (◎: 部会長 ○: 副部会長)

◎森脇 和徳 ○常俊 朋子
富田真由美 幸松孝太郎 吉田 正己 三原 淳子 高田 稔嗣 石井 政

会派 (◎: 会派長)

清風クラブ : ◎山下松一 常俊朋子 森岡秀之 吉田正己 福田博行
心風会 : ◎柳生大輔 幸松孝太郎 森脇和徳 永岡 禎 川合 滋
公明党 : ◎石井 政 富田真由美 細矢一宏 吉住美智子
清流クラブ : ◎田合 豪 豊岡千代子 高田稔嗣
日本共産党 : ◎橋本マサ子 三原淳子
会派に属さない議員: 浦崎陽介

平成23年9月定例会

平成23年度補正予算など30議案を可決

平成22年度決算を認定

9月定例会(第348回)は、9月6日開会、10月6日閉会の31日間の日程で行われた。

提出された案件は、平成23年度の一般会計・特別会計・企業会計の補正予算5件、入湯税に係わる「市税条例」など条例の改正3件、地方税法改正に伴う過料・軽減措置に係る「市税条例」の専決処分承認1件、市道認定など2件、決算の認定11件、請願5件、議員提出議案8件の全35案件である。

議員提出議案の8件は「電力多消費型経済社会からの転換」「大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設」「自治体クラウド(※)の推進」「原子力発電所における国の防災指針の見直し」の意見書提出および、請願採択に伴う意見書の提出である。

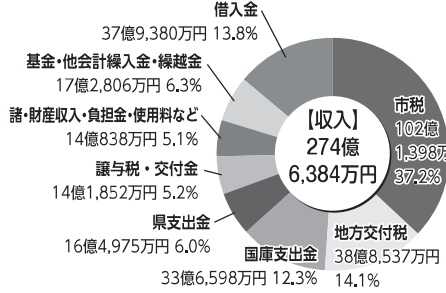
補正予算

一般会計の補正予算は、5億6510万円の増額補正で、平成23年度補正後の予算は、25億7941万0千円となった。

歳入の主なものは、市立病院の医療機器更新のため、地域医療体制再構築事業補助金を使った病院事業会計繰入金1億3900万円、社会福祉施設(地域福祉活動拠点・地域介護・福祉空間整備)事業6460万円、災害復旧事業8080万円などである。

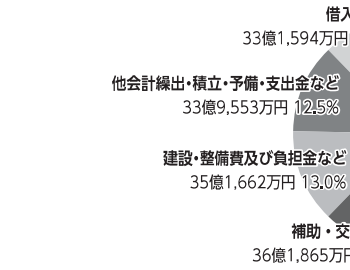
歳入の主なものは、地方交付税2億318万円が減額となり、減収補てんとして市債1億6810万円を増額した。

平成22年度一般会計 決算額内訳



※地方交付税 市が自由に使える国からのお金
※国庫支出金 使い道が定められている国・県からのお金

【支出】



○企業会計決算

平成22年度病院事業会計) 事業収益が41億5631万円、事業費用が44億7364万円となり、純損失は3億1733万円。未処理欠損金は90億3772万円となった。

○平成22年度水道事業会計)

事業収益が14億7504万円、事業費用が15億1551万円となり、純損失は2億651万円。未処分利益剰余金は3億3357万円となった。

一般質問

質問は議員から提出された原文を尊重し、編集して掲載しています。

【清風クラブ】常後朋子 審査制度導入の効果

行政評価の再検証 地域ビジョンの本格実施に伴い、名張市財政早期健全化計画に基づく市政一新プログラムを平成15年度から始め、19年度からは、審査制度の導入。

審査制度導入の効果 市政一新プログラムの目的は財政再建と市民主権のまちづくりである。

審査制度導入の効果 市政一新プログラムの目的は財政再建と市民主権のまちづくりである。

審査制度導入の効果 市政一新プログラムの目的は財政再建と市民主権のまちづくりである。

審査制度導入の効果 市政一新プログラムの目的は財政再建と市民主権のまちづくりである。

審査制度導入の効果 市政一新プログラムの目的は財政再建と市民主権のまちづくりである。

審査制度導入の効果 市政一新プログラムの目的は財政再建と市民主権のまちづくりである。

夏場の再試行を7月25日から9月16日まで実施。今回は夏場のおい対策として、紙や水切りネットの中に入れていただいたこと、試行していただいた「ふた付きバケツ」の配布をしなかったのは、前回のアンケートを参考にした。バケツの利用率は14.1%、高評価18.7%、必要性37.6%。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

名張市学校施設耐震強化計画に基づき、震度6強の地震で、倒壊の危険性が高い学校の耐震補強工事を終えた。

※自治体クラウド…地方自治体の情報システムをデータセンターに集約し、市町村がそれを共同で利用できる環境

子ども医療費無料化

三重県知事が平成24年の4月、遅くとも9月から、子どもの医療費無料化を小学校卒業まで拡大すると表明した。県下では、中学校卒業まで無料化を進めている市町もあるが、名張市は就学前までしか実施していない。県の動向をふまえ、24年の4月からの実施に向け準備を整えよ。あわせて、東海4県で三重県だけがしていない窓口無料化についても、早期の実施を求める。

Q 三重県知事が平成24年の4月、遅くとも9月から、子どもの医療費無料化を小学校卒業まで拡大すると表明した。県下では、中学校卒業まで無料化を進めている市町もあるが、名張市は就学前までしか実施していない。県の動向をふまえ、24年の4月からの実施に向け準備を整えよ。あわせて、東海4県で三重県だけがしていない窓口無料化についても、早期の実施を求める。

A は、重要な子育て支援であり、県と協議を進め実施に向け取り組む。窓口無料化は、現物給付であり望まれるものだが、医療費が増えるため難しい。

「公明党」富田真由美 学校施設の防災対策

答弁 検討・整備していく

Q 災害時に備えての学校施設の整備について、東日本被害を踏まえ避難所となる学校の耐震化の加速、安全性や防災機能の確保や対策が必要だ。防災担当部局と連携をとり図っていくべきだ。要援護者の受け入れ環境を整っているかを問う。

A 耐震化を進めている学校については整備ができていく。またの所は取り組む。防災マニュアルを検討する必要がある。福祉避難所を増やす検討をしている。

発達支援の進捗

答弁 9月に提案出る

Q 平成23年4月に、百合が丘の元田辺三菱製薬(株)名張第一研究所研修棟を活用し、子ども発達支援室を設置。6月から相談室を開設し、検討会を行っているが、進捗状況を問う。

A 検討会を重ね9月には案を出す予定。関西医科大学付属病院から小児科の医師が来て、23年4月から小児発達外来を設置。市内の保育所・幼稚園・小中学校を巡回訪問しており、相談も増えている。

「福風クラブ」福田博行 自治体クラウド導入

答弁 導入に向け検討

Q 東日本大震災では、自治体の戸籍データ消失など、その管理が問題となった。法改正のために地方自治体が、コンピュータシステムに高額な経費をつぎ込まねばならないのも問題だ。これらの解決のために、自治体クラウドの導入は有効だ。先駆的に取り組んでいる自治体も多くある。導入に向け検討検討せよ。

A 過去10年間のIT投資総額は44億円であり、その節約のため自治体クラウドは有効だ。協議会や講演会、トップセミナーに参加して研究している。導入に向け検討していく。

観光協会との連携

答弁 委託事業を推進

Q 観光行政は、行政マンが中心になって進めるには無理がある。観光協会や商工会議所、地域と連携して推進すべきだ。社団法人化された名張市観光協会は、観光施策実施の中心的存在だ。協会との連携を問う。旧消防本部跡地を観光バスの停車場へと、平成16年に提案したが検討されたか。

A 観光協会には、観光客誘致推進事業や施設管理など多くの事業を委託している。今後は産業部だけでなく、全庁的な事務事業の中で取り組んでいただく事業を洗い出し、委託を進める。旧消防本部の跡地利用については、地域の皆さんと十分に協議して進める。



解体中の旧消防庁舎

「公明党」石井政 地籍調査を早期推進

答弁 計画的に調査実施

Q 地籍調査は、行政活動の土壌を保全する重要な事業だ。全国平均進捗率は47%で三重県は7%だ。市は2.6%と低い。その理由を問う。大規模災害発生時、地籍調査実施済みの地域は土地の境界復元が容易で、災害復旧が迅速に進む。人の救出も、GPS(全地球測位システム)により捜索が可能だ。地籍調査のスピードアップを図るべきだ。

A 行政側の認知度が低かった。平成20年3月に「名張市地籍調査事業基本方針」を定め、実施計画を策定した。東海・東南海・南海地震の懸念もある。災害時の復旧・復興の迅速化のため早急に推進したい。今年度より、名張地区から計画的に調査を実施する。

「希望クラブ」豊岡千代子 ドアップを図るべきだ。

行政側の認知度が低かった。平成20年3月に「名張市地籍調査事業基本方針」を定め、実施計画を策定した。東海・東南海・南海地震の懸念もある。災害時の復旧・復興の迅速化のため早急に推進したい。今年度より、名張地区から計画的に調査を実施する。

Q 一人暮らしの高齢者などが、急病で救急車を呼んだ場合、かかりつけ医や服薬内容などの個人情報を入れた容器「救急医療情報キット」を冷蔵庫に保管し、緊急医療に活かすシステムがある。東日本大震災以後、本システムは唯一緊急災害時における全国統一の仕組みとして注目されている。市で活用すべきだ。

救急医療情報キット

答弁 導入に向け検討

Q 地域で自立して暮らす高齢者が最も重要な。キットによる医療情報を利用して救助を行えるため、救急活動時には役に立つ。県内では、桑名市・熊野市・東員町などで活用されている。今後、先進事例を調査研究し、消防や医療機関と協議し財源も含めて積極的に検討する。



救急医療情報キット

「希望クラブ」豊岡千代子 虐待者への指導支援

名張市において、児童虐待は増えてきている。虐待を受ける子どもは3歳未満が最も多く、その虐待者は実父母が大半を占めている。子どもを虐待から守るためにも、親たちへの指導や支援が必要不可欠である。中には、被虐待体験者も含まれており、自身の体験がフラッシュバックし、育児不安に陥るなど、今も苦しんでいる。他にもさまざまな要因はあるが、こうした現状への取り組みを問う。

Q 虐待は増えてきている。虐待を受ける子どもは3歳未満が最も多く、その虐待者は実父母が大半を占めている。子どもを虐待から守るためにも、親たちへの指導や支援が必要不可欠である。中には、被虐待体験者も含まれており、自身の体験がフラッシュバックし、育児不安に陥るなど、今も苦しんでいる。他にもさまざまな要因はあるが、こうした現状への取り組みを問う。

A 保護者側の要因として、情緒不安定や育児不安・子育てへの思い込み・生活背景に関する要因などもあり、信頼関係を保ちながら、医療や福祉関係者と連携し、地道で気長な支援を行っている。

国・郷土愛培う教育

答弁 指導要領による指導

Q 東日本大震災による被災者の、毅然・整然とした日本人の行動に対し、称賛する声が世界中から届けられ、改めて日本人の誇りと自信を思い起こさせてくれた。その一つが、国旗や国歌の意味を教えることが大切だ。明治23年に発表された「教育に関する勅語」の精神を受け継いでいくべきと思うが、教育委員会の取り組みを問う。

A 国旗と国歌の意義を理解し、尊重する態度を養っている。入学式や卒業式には国旗掲揚し、国歌を斉唱するよう指導している。「教育に関する勅語」は昭和23年に廃止されたため、教育基本法に基づき指導している。

「希望クラブ」幸松孝太郎 掲揚し、国歌を斉唱するよう指導している。

「教育に関する勅語」は昭和23年に廃止されたため、教育基本法に基づき指導している。

Q 22年度決算は、一般会計・特別会計の合計で実質収支額約9億円の黒字。基金(貯金)は、累計約41億円と約1.6億円増加。市債(借金)は全会計の累計が約54.3億円と約5.5億円増加した。今後の財政運営の見込みでは、23年度の単年度収支は黒字を目指したい。24年度は、約4.7億円の赤字の見込みである。25年度以降は、単年度黒字を復活させ、健全化に向けて努力し、明るい見通しとなるようにしたい。

A 22年度決算は、一般会計・特別会計の合計で実質収支額約9億円の黒字。基金(貯金)は、累計約41億円と約1.6億円増加。市債(借金)は全会計の累計が約54.3億円と約5.5億円増加した。今後の財政運営の見込みでは、23年度の単年度収支は黒字を目指したい。24年度は、約4.7億円の赤字の見込みである。25年度以降は、単年度黒字を復活させ、健全化に向けて努力し、明るい見通しとなるようにしたい。

Q 名張ブランドの活用

答弁 伊賀牛牛汁を支援

Q 名張ブランド「伊賀牛牛汁」の活用方法を検討すべきだ。本年は、9月24日・25日に愛知県豊川市でB級グルメの大会が開かれる。「B・1中日本・東海グランプリ」を、名張市に誘致することを提案する。

A 「伊賀牛牛汁」は、新たな名張ブランドとして地域活性化に役立つものと期待している。今後、牛汁が名張を代表するB級グルメとして、集客に役立つよう、市としても必要な支援をしたい。豊川市で開催さ

る。今後、牛汁が名張を代表するB級グルメとして、集客に役立つよう、市としても必要な支援をしたい。豊川市で開催さ

れる「中日本・東海B・1グランプリ」には、市長、副市長も参加し、会場で名張の魅力をPRする。誘致については、開催場所や交通アクセスなど条件面についても、名張商工会議所や市観光協会とも協議して前向きに進めたい。



B-1 グランプリで牛汁を紹介する市長

「清風クラブ」森岡秀之
要援護者支援制度

Q 災害時要援護者支援制度がスタートして約1年半が経過。徐々に浸透はしているものの、個人情報問題があり、同意の収集が目標に達していないのでは。現在の状況・課題と取組み方針について問う。

A 平成23年7月末現在、対象者の約65%の同意を得ている。民生委員・児童委員においても、地域の要援護者の情報を独自で調査・保有している。守秘義務のため他者に提供できない状況下、今後は、同意確認と同意者リストの更新を毎年行う。多くの皆さんに制度の趣旨を理解していただき、同意されるよう啓発に努める。未同意者については、同意するまで毎年確認通知をする。

避難所の数について

Q 東海・東南海・南海の3連動地震で震度5弱、内陸直下型地震、いわゆる名張断層がズレた場合、震度6強が想定されている。市内45カ所の避難所だけでは少ない。民間の空きスペース活用ができないのか。

A 想定では、最大909人の避難者スペースが必要だと言われている。避難所は学校や公民館を指定しており、合計で1万1420人の受け入れが可能。民間施設の避難所の場合、施設のセキュリティや安全措置など、さまざまな課題もあり、避難生活が長期化した場合、施設に相当の負担がかかる。避難者の受け入れについては、市指定避難所以外にも「名張市防災協力登録事業所」の申出事業所を避難所活用として予定している。

「希望クラブ」浦崎陽介
ご都合主義の財政難

Q 総合体育館にあるテナントの家賃は月額1万円だが、見直しは行わないのか。名張市は、亀井市長就任時の平成14年に財政非常事態宣言を出し、さまざまな見直しをしたはずだ。16年の再契約時、なぜ見直しを行わなかったのか。名張市は都合のいい時だけ財政非常事態宣言を出しているが、市が貸している家賃は本当に妥当なのか。3年程前にも調査して指摘をしたが、2年ごとに見直すとは回答したが、昭和動に伴う契約書にあるが、昭和

5年から変化が無い。体育館のレストランは、年額12万円だ。16年の再契約時、経年劣化などにより、引き上げ困難と判断。過去、経営が厳しく、撤退した例があり、現状維持で行う。

「心風雲」永岡楯
スポーツ施設の充実

Q 名張市には、県のスポーツ施設が何もない。県が誘致表明している、平成28年要望、33年開催の三重国体をにらんで、老朽化が進んでいる中央公園内スポーツ施設の整備計画を、早急に立てるべきである。それが県のスポーツ施設であればベストである。野球場の防球ネットの設置、バックスクリーン改修は、いつになればできるのか。

A 早急に整備計画ができるよう努力していく。野球場の防球ネット設置、バックスクリーン改修については、23年度末か、24年度早い段階に整備する。



永岡議員が示したスポーツ施設構想図

規模・配置の適正化

Q 小規模特認校を含んだ名張市立小中学校の規模・配置の適正化計画は、地域・保護者の皆さんの意見を十分聞かず、教育委員会主導を進められている。なぜ、本格実施したばかりの小規模特認校を含んでしまったのか、今でも不可思議でならない。この制度を本格実施に向けて努力された、関係小学校卒業の部長クラスの皆さんは、無念で複雑な思いをされている。教育委員会と執行部のすり合わせもできていないのではないかと。教育問題については、私が口出しせずに、教育委員会が進めていただいている。最終判断は市長の私とする。

高田稔嗣
「消防司令システム」
28年の国の施策でデジタル通信化し、伊賀市名張市広域化により、伊賀市に司令室を置くこととしているが、名張市における財政的メリットほどの程度か。

高田稔嗣
「新興住宅地の倒木」
土木費の都市計画費にも不用額がある。台風12号で、公園や緑地帯の倒木が見られた。40年以上経った公園では、20mを超える立ち木もある。大きな木が倒れた場合、電線などを切る可能性もある。今までの公園管理ではなく、減災も考えた上での管理が必要である。

川合滋
「内科医1人減」
10月1日付で、市立病院の内科医が三重大学に引き揚げられると聞いたが事実か。今、上野総合市民病院では、内

科医ゼロ。岡波総合病院では輪番体制から一歩はなれ、独自の体制となっている。伊賀地域の救急体制は大丈夫か。医師の疲弊はないのか。



台風12号による倒木

その他の質問

規模・配置の適正化
答弁 私が見終判断する
Q 小規模特認校を含んだ名張市立小中学校の規模・配置の適正化計画は、地域・保護者の皆さんの意見を十分聞かず、教育委員会主導を進められている。なぜ、本格実施したばかりの小規模特認校を含んでしまったのか、今でも不可思議でならない。この制度を本格実施に向けて努力された、関係小学校卒業の部長クラスの皆さんは、無念で複雑な思いをされている。教育委員会と執行部のすり合わせもできていないのではないかと。教育問題については、私が口出しせずに、教育委員会が進めていただいている。最終判断は市長の私とする。

高田稔嗣
「消防司令システム」
28年の国の施策でデジタル通信化し、伊賀市名張市広域化により、伊賀市に司令室を置くこととしているが、名張市における財政的メリットほどの程度か。

高田稔嗣
「新興住宅地の倒木」
土木費の都市計画費にも不用額がある。台風12号で、公園や緑地帯の倒木が見られた。40年以上経った公園では、20mを超える立ち木もある。大きな木が倒れた場合、電線などを切る可能性もある。今までの公園管理ではなく、減災も考えた上での管理が必要である。

川合滋
「内科医1人減」
10月1日付で、市立病院の内科医が三重大学に引き揚げられると聞いたが事実か。今、上野総合市民病院では、内科医ゼロ。岡波総合病院では輪番体制から一歩はなれ、独自の体制となっている。伊賀地域の救急体制は大丈夫か。医師の疲弊はないのか。

三重大学医局自体でも医師が不足している。今回、循環器の内科医が医局に戻る。しかし、非常勤医として救急医療を支えてくれる。名張市立病院での、輪番担当50%は維持していく。

可決した議案

- 報告第3号 専決処分した事件(名張市市税条例等の一部を改正する条例)の承認について
● 議案第53号 名張市市税条例の一部を改正する条例の制定について
● 議案第54号 名張市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
● 議案第55号 名張市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について
● 議案第56号 市道路線の認定について
● 議案第57号 平成23年度名張市一般会計補正予算(第3号)について
● 議案第58号 平成23年度名張市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
● 議案第59号 平成23年度名張市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
● 議案第60号 平成23年度名張市病院事業会計補正予算(第1号)について
● 議案第61号 平成22年度名張市一般会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第62号 平成22年度名張市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第63号 平成22年度名張市東山墓園造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第64号 平成22年度名張市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第65号 平成22年度名張市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第66号 平成22年度名張市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第67号 平成22年度名張市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第68号 平成22年度名張市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第69号 平成22年度名張市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
● 議案第70号 平成22年度名張市病院事業会計決算の認定について
● 議案第71号 平成22年度名張市水道事業会計決算の認定について
● 議案第72号 平成23年度名張市一般会計補正予算(第4号)について
● 議案第73号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
● 議員提出議案第6号 電力多消費型経済社会からの転換を求める意見書の提出について
● 議員提出議案第7号 大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書の提出について
● 議員提出議案第8号 自治体クラウドの推進を求める意見書の提出について
● 議員提出議案第9号 原子力発電所における「国の防災指針」の見直しを求める意見書の提出について
● 議員提出議案第10号 義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める意見書の提出について
● 議員提出議案第11号 保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出について
● 議員提出議案第12号 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について
● 議員提出議案第13号 防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書の提出について



議会広報特別委員会は、10月13日、市内の名張高校生を対象に「なばり市議会だより」などについて意見交換会を開き、3年生7人が参加した。

この議会だよりは、議会と市民の間をつなぐ重要な情報発信ツールである。今回は名張高校プレゼンテーション技術講座生と議会の活動を知ってもらうおうと、2月に続き実施した。

「まちづくり」と「絆づくり」を話題の柱にし、名張市の今後や議会の役割を知る中で、生徒の創造性や企画力を高めることを狙った。1時間半、互いに個性あふれる考えや思いを語り合った。初めて体験した生徒によると「楽しかった。議員の本音や熱意がよく分かった」と話していた。



請願について

- 請願第2号 義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める請願 →採択
● 請願第3号 保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願 →採択
● 請願第4号 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める請願 →採択
● 請願第5号 防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願 →採択
● 請願第6号 国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し社会保障の充実・改善をもとめる請願 →不採択

表決が分かれた案件

Table with columns for political groups (会派・議員名) and various bills (議案番号など). Rows include Report No. 3, Bills 53, 61, 66, 68, 69, and various amendments.

議長 柳生大輔(会派:みらい)は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

他市からの議員視察一覧表 (H23.4~9)

Table listing city council members' sightseeing activities. Columns include date (年月日), city name (市議会名), and purpose (目的). Sightseeing occurred in various cities like Hamaoka, Hamamatsu, and others.

インターネットで会議録を見ることができます

名張市議会、名張市議会事務局(市役所ホームページ内)のホームページからアクセスできます。http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/

おことわり

議員のお祝い金などの寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会(議会事務局 ☎63-7835)



12月 議会の日程(予定) ※日程を変更する場合があります。

Table of the council's schedule for December. It lists dates and events such as '開会' (Opening), '一般質問' (General Questions), '採決' (Vote), and '総務企画委員会' (General Affairs and Planning Committee).

訂正文

P. 7 「表決が分かれた案件」の議案番号

正：請願 2号

誤：議案 2号